



写真撮影：上田宏（全て）



南側外観  
外壁は3方向の庭とつながる様に少しずつ角度が振れている

### ■建築主コメント

北欧の生活スタイルのように自然と一体となり、光や風を十分にに取り込み、家族がくつろげる家を要望しました。リビングの天井高がとても高く、夏は風が通って涼しく、冬は日当たりが良く暖かいです。キッズスペースのベンチやリビング廻りの階段、2階の階段など家の随所に座ったりテーブル代わりにする設えがあり、気に入っています。家の内部の材質は木や珪藻土などの自然素材を使い、家具やキッチンも手作りの為ぬくもりを感じます。こだわって要望した家族みんなのシューズクローゼットやウォークスルークローゼットなどの生活動線や、洗濯→物干し→収納の家事動線はとても使い易く、満足しています。庭では鳥や虫が集まり、樹木や草花も徐々に充実させながら育てています。

### ■設計者コメント（株式会社 K+S アーキテクト）

北欧の家具デザイナーであるフィン・ユールや建築家のアルヴァ・アアルトに造詣があり、北欧の住まいや家具照明器具がお好きなご夫婦の住宅です。設計当初、ストックされていた住まいのイメージ写真を沢山お見せ頂き新しい住まいに対する強い想いを感じました。そのイメージを軸に大切なデザインエッセンスを残しながらデザインしていきました。一番興味深かったのは、ご家族の生活が良い意味でとても開け放ちで、最適な生活が送れるように家具のレイアウトや設えなどを頻りに変えながら生活されていた事です。その開け放ちで自由で、工夫しながら生活する感じを新しい家にも取り入れたいと思いました。また、施工者のオムニバス様には平面・断面共に難しい計画でしたが、高い技術力と工夫で施工頂きましたことを感謝いたします。

### ■施工者コメント（株式会社 オムニバス）

工事着手前に、ウッドショックがありお施主様、設計者様には大変頑張って調整頂きました。さらに、工事着手後は材料の流通が制限されるなどの事態に陥りましたが各業者の頑張りのおかげで、大きな遅れもなく、何とかこの難しい建築を形にすることが出来ました。建物の壁は外部・内部共角度が振れている為、墨出し・基礎・建て方完了まで不安で眠れない日々が続きました。仕上げは、それぞれの納まりを現場にて設計者とスケッチを用いて密にやり取りさせて頂き、一つ一つ丁寧に職人さんに製作頂きました。全てを通して大変な苦勞がありましたが、施工者としてこの建築に関わったことを誇りに思います。



庭が見えるエントランス  
クローゼットを通りダイニングに通じる



庭とつながる吹抜のあるリビング  
リビングの周囲にリボンを巻く様に配した回遊動線



書斎と2階をつなぐステップ  
本を読んだりゲームをしたりできる



中2階の書斎  
里山が見える窓は、まちからもペンダントのやさしい灯りが見えるようにした



淡いグレーを施したゲストルーム  
ギャラリーの様なスペースにしたいという建築主の要望を受けて色を決定した